

第19回
浦添市まちづくり
プラン賞

日本遺産認定(浦添編)

フットパスマップ作成事業

Presents by NPO法人美ら島きこえ支援協会

事業報告

事業目的

4つの事業目的



観光振興



地域振興



健康促進



きこえの
バリアフリー

より魅力ある浦添市へ

観光 振興

昭和59年から**景観まちづくり**に取り組んできた浦添市の魅力を日本遺産に加えて発信します。

地域 振興

地域資源を発掘し、フットパスを組み合わせることによって、さらに**地域の魅力を醸成**します。

健康 促進

フットパスを通じた「**歩く**」事で市民の体力づくりを促進し、健康あふれる浦添市民を増やします

より魅力ある浦添市へ

きこえの
バリアフリー

きこえにハンディを抱えている
皆様も楽しめるように、
フットパスに**情報保障**を導入します。



筆談



UDトーク



手話



Hearing
Loop

補聴援助機器

事業内容



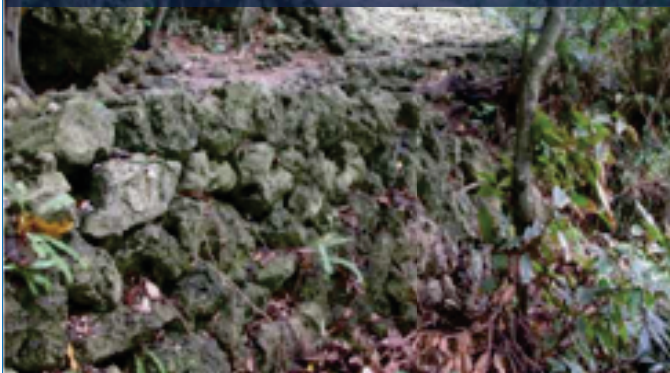
「情報保障付きバスツアー開催！」

2019.11.16

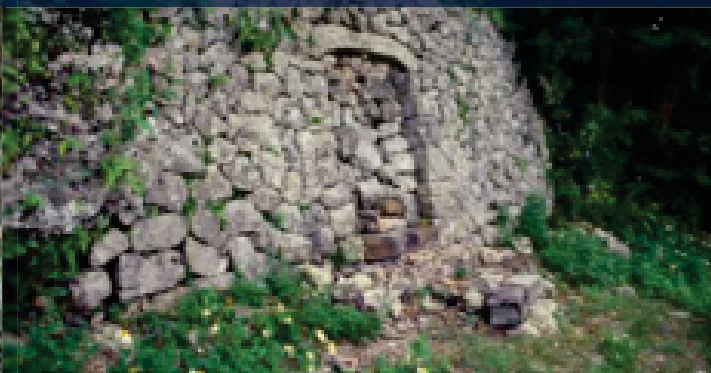
又吉栄喜作品舞台原風景を歩く



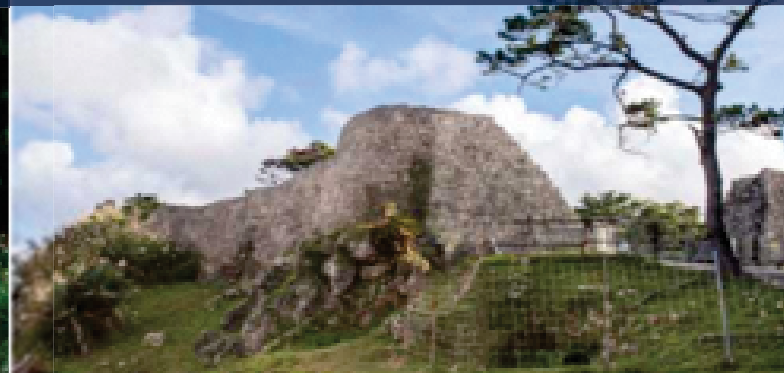
伊祖城跡



伊祖の高御墓



浦添城跡



牧港のテラブガマ

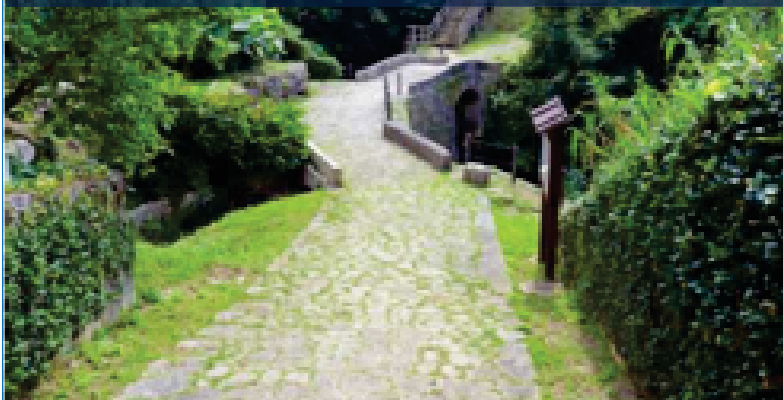
浦添ようどれ

浦添城の前の碑

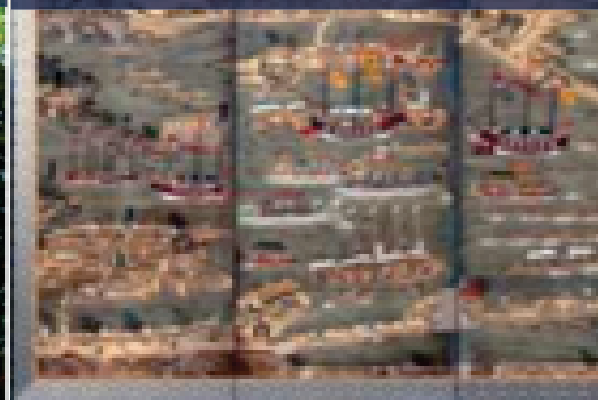


日本遺産認定（浦添編） フットパスマップ作成事業

中頭方西海道
（尚寧王の道）



琉球交易
皆港図屏風



玉城朝薫の墓



事業収支

支出

単位：円

科目	予算額	決算額		比較増減額	説明
			うち助成金	(決算－予算)	
印刷製本費	324,270	264,270	264,270	-60,000	1. フットバスマップ制作・デザイン代金 (500部)
備品購入費	12,767	12,200	12,200	-567	防滴メガホン購入費
合計	337,037	276,470	276,470	-60,567	交付決定額は567円余り

事業成果

1

日本遺産に登録された浦添の文化財の魅力をマップを通じて再発見できた事

2

マップ作成のノウハウを学んだことで、地域資源・文化財の新しい啓発手段を作れた事

3

フットパスの中に情報保障を導入することの有効性を確認できた事

課題と対応

1

予算見積もりをより正確に行い、最終予算額から適切な事業計画を作成

2

事業特性を理解する専門家をチームに導入し、チーム内の役割分担を明確化

3

新型コロナウイルス感染拡大防止を念頭に入れた実施計画の立案が必要

今後の取組と展望

取り組みと展望

1

マップ作成の制作過程や、作成ノウハウ等を公開し、フットパスを啓発

2

他市町村の地域団体と連携し、地域振興・生涯学習の方法として啓発

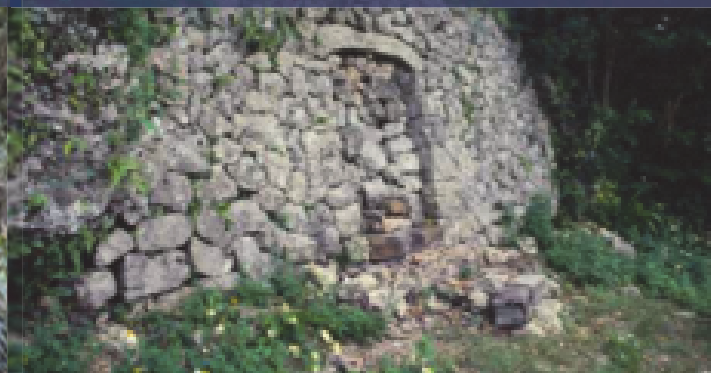
3

他県のマップを研究し、より魅力的なマップ作成実現のために研鑽する

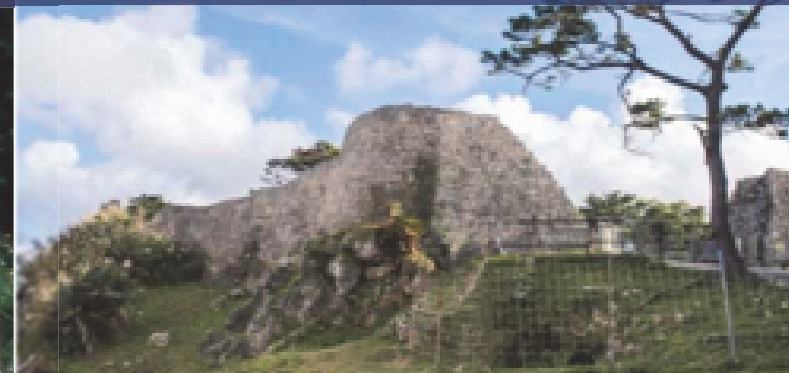
伊祖城跡



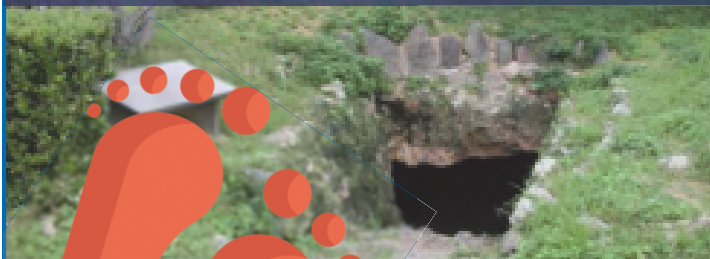
伊祖の高御墓



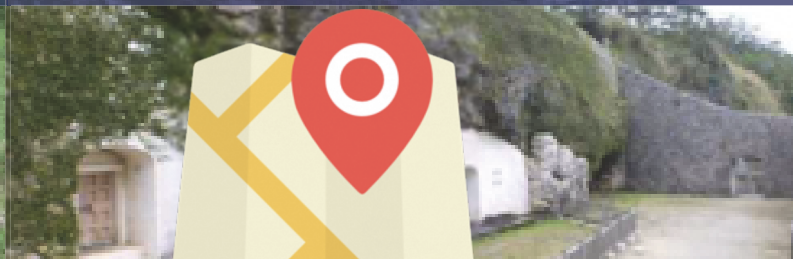
浦添城跡



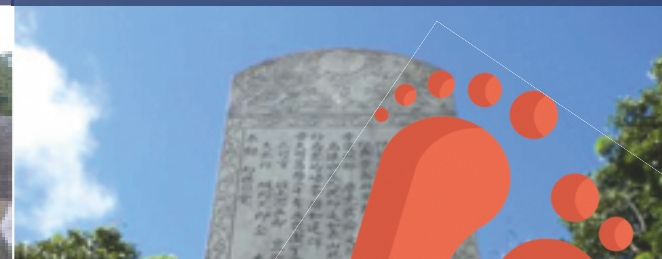
牧港のテラブガマ



浦添ようどれ



浦添城の前の碑



フットパスマップ作成で
歩いて楽しいまち浦添市
の地域振興に尽力します！

事業実績報告書

1 事業の名称	日本遺産認定（浦添編）フットパスマップ作成事業
2 団体名	NPO法人 美ら島きこえ支援協会
3 団体の代表者	理事長 比嘉 誠伸
4 事業実施期間	令和元年9月1日～令和2年2月28日
5 事業目的	1：観光振興 景観のまちづくりに取り組んできた浦添市の魅力を日本遺産に加えて発信 2：地域振興 地域資源を発掘し、フットパスを組み合わせる事によってさらなる地域の魅力を醸成 3：健康促進 フットパスを通じた「歩く」事で市民の体力づくりを促進 4：きこえのバリアフリー促進 フットパスに、歩調援助システムやリアルタイム音声認識字幕を導入し、聴覚障害を持つ方も参加できるような合理的配慮を致します。
6 事業内容 事業の参加人数、実施場所、内容、実施体制、事業経過などの実績をできるだけ具体的に記載してください。	・9月18日：第1回実行委員会 （フットパスマップ制作打ち合わせ）参加者：3人 ・10月15日：第2回実行委員会 （進捗状況確認、コース選定、又吉栄喜フットパス開催内容確認等）参加者：6人 ・11月16日 又吉栄喜フットパス（情報保障付きバスツアー） 参加者：10人 ・2月28日 日本遺産認定（浦添編）フットパスマップ完成

7 事業の成果又は効果	フットパスマップを通じて、浦添市内の日本遺産認定文化財の魅力を再確認し、その魅力を広げていく契機ができたことは大変素晴らしいことと感じています。
8 事業目的の達成に向けた課題と今後の対応策	・新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮し、マップを用いたフットパス実施を見合わせる形となった。感染拡大防止策をしっかりと考慮した上で、2020年度中にマップを用いた、フットパスを実施したい。 ・マップ作成は想像以上に専門的な知識が必要であり、地図作成の専門家から作成指導を受ける必要性を痛感した。 ・既存のまち歩きマップとの明確な差別化が、予算の関係もあり中々うまく行かなかった。
9 今後の取り組みに向けた展望	・フットパスマップ作成におけるノウハウやコツ、苦労した点、作成業者選定、実際の予算額等を公開し、生涯学習の取り組みとしてのマップ作成を促進して行きたい。また、県内各地の名所や観光スポットに対応したマップ作成を地域団体と連携しながら作成して行きたい。